

つくば市行政改革大綱実施計画（行政改革マニフェスト）
平成26年度実績・取組状況（概要版）

総務部行政経営課

1 実施計画（行政改革マニフェスト）の概要

実施計画は、第2次つくば市行政改革大綱に掲げられている推進目標を実効性のある形で実現していくために、平成22年4月に策定したものです。

本計画は、126の実施項目で構成され、それぞれの項目に可能な限り数値目標を取り入れています。

なお、各項目にある数値目標や削減額等は、原則的に平成20年度を基準としています。

2 平成26年度の取組状況

平成26年度末までに着手済みとなった項目は、126の実施項目のうち120項目で、着手率は95.2%となりました。

平成26年度に取り組んだ主な項目は、コミュニティバス運行による環境負荷低減の推進、幼保一元化の推進などとなっています。

3 縮減（効果）額

歳入・歳出別で見ると、歳入に係る効果額（収入増額）は、5億6,209万円、歳出に係る縮減額は、2億2,847万円になりました。

平成26年度の効果額は、各実施項目の取組前と比較すると7億9,056万円となりました。

○ 平成26年度の縮減（効果）額の主なもの（※は20年度比）

◇ 歳入に係るもの

- ・ 下水道への加入促進……………使用料増収額 213,303千円※
- ・ 市税等の滞納額の縮減……………租税債権管理機構移管による縮減額
174,048千円
- ・ 企業誘致による税収の確保・雇用の確保……………増収見込 63,049千円

◇ 歳出に係るもの

- ・ 定員適正化計画の推進…………… 縮減額 1,596,168千円※
- ・ 医療費適正化の推進……………レセプト内容点検による効果額
101,099千円
- ・ 経常経費の削減…………… 縮減額 △1,448,166千円※

平成26年度に取り組んだ主な項目

公園緑地の里親制度(アダプト・ア・パーク)の拡充

アダプト・ア・パーク事業は、平成12年度から、公園単独のアダプトシステムとして日本で初めて導入

- ・44公園において、花壇管理及び清掃作業を中心に、34団体(626人)が活動
- ・前年比 1団体増加

コミュニティバス運行による環境負荷低減の推進

PDCAサイクルによる実証運行の継続

利用者数

○平成26年度年間利用者数

つくバス 888,032人

つくタク 50,865人

○市が関与する公共交通利用者数

(つくバス及びつくタク利用者数)

平成23年度 65万人

平成26年度 94万人

運行開始時(平成23年度)と比較し、29

運行の改善

○つくバス

・停留所の移設 1箇所

・路線の見直し 1路線

・停留所の新設 1箇所

○つくタク

・共通ポイントの見直し

(どの地区からも行き来できる乗降場所)

・料金の統一

(300円又は1,300円に統一)

幼保一元化の推進

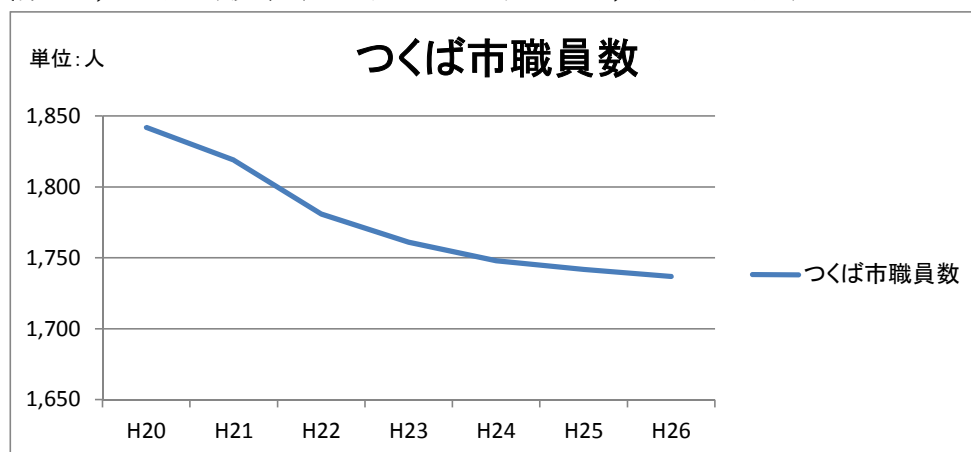
新制度施行に伴う幼稚園型及び幼保連携型認定こども園への移行

- ・幼稚園から幼稚園型認定こども園への移行 1件
- ・幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行 1件

定員適正化計画の推進

「定員管理指針」(H23.3月策定, 期間H23年度からH27年度)に基づき,
5人減

職員数:1,737人(教育長を除く 退職71人, 採用66人)



旧庁舎跡地利用の検討

- 平成21年6月 「新庁舎建設に伴う現庁舎等利活用方針」を策定
- 平成22年3月 「現庁舎及び跡地等整備計画」を策定

•筑波庁舎跡地について, 施設一体型小中一貫校「(仮)つくば紫峰学園」を建設するため, 解体工事を実施した。

待機児童解消に向けた民間保育所の拡充及び公立保育所民営化の検討

○創設

つくばスワン保育園(定員90名), つくばトッポンチーノ保育園(定員60名), にじいろ保育園(定員60名), 認定こども園豊里もみじこども園(0~2歳児のみ定員45名)

○拡充

島名保育園(定員60名→120名)